

県立中央病院連携室だより

-ともに歩む地域医療-

Vol.27

●発行日 平成29年4月
●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)
●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHSによる Dr.Direct Call
5. 24時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進



2017年度の年度はじめにあたって

岩手県立中央病院長 望月 泉



2017年の年度はじめにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。昨年、12月14日地域連携登録医懇談会を当院4階大ホールで開催しました。登録医の先生85名と院内医師67名、計152名が参加、盛大な会となりました。ご参加いただいた先生には誠にありがとうございました。本年度の目標は、地域医療支援病院としてさらなる連携の推進と病院機能の充実です。地域完結型の医療を目指し、医療介護連携、医科歯科連携のさらなる推進を行います。住み慣れた地域で最後まで暮らせる地域包括ケアシステムの構築を進めます。また、患者さんを待たせない、断らないを念頭に医療を行います。

また、職員すべての研修、教育が大切です。専門医制度は1年立ち止まり、平成30年4月に開始される予定です。内科、外科などの基幹型プログラムをはじめ、2階部分となる各専門科 subspeciality 各科のプログラム整備が必須です。また、認定看護師制度をはじめ専門薬剤師等各部門での資格取得などが求められます。

私も来年定年を迎えますが、この病院に勤務することができ、本当に良かった、充実した人生であったと思えるような病院作りが大切です。勤務環境の整備、職員満足度の向上です。患者満足度は職員満足度が上がらなければ決して向上しないことを肝に銘じております。

4月1日、待望の診療科である形成外科を開設します。高機能センター病院として当院の診療科はほぼそろったのではと思います。県民のニーズに答える、より良質な医療を提供していきます。本年は9月2日(土)、第6回県立病院総合学会を盛岡市で開催します。テーマは「地域になくてはならない病院～人を育て、医療の質・経営の質を高める～」としました。平成31年9月には、岩手医科大学病院が矢巾に移転します。盛岡医療圏の救急医療体制、当院の地域救急救命センター等あるべき姿を構築する必要がある、本年度から鋭意取り組みたいと思います。

以上、年度はじめにあたりのごあいさつとさせていただきます。

《地域連携登録医懇談会の様子》





当科のモットーは『診断には厳しく、患者さんには限りなく優しく』であり、呼吸器外科、病理および放射線科と連携を密にして医療の質を高める努力をしております。対象疾患は呼吸器疾患全般ですが、特に肺がんに関しては年間 100 例以上の新規症例があり、東北でも有数の症例数となっています。昨年度には最新の気管支内視鏡ナビゲーションシステムも導入し、その診断や治療において県のセンター的役割を担っております。なお、排菌のある肺結核と睡眠時無呼吸症候群の診断は基本的には扱っておらず、膠原病はリウマチ専門医の佐々島の退職に伴い腎臓・リウマチ科で、また、気胸に関しては以前から呼吸器外科で対応しておりますのでよろしくお願いいたします。



さて、この機会に当院における呼吸器内科の歴史について改めて調べてみました。当院は昭和 35 年に岩手県立中央病院と名称変更しており、その当時は内科、外科、小児科、産婦人科など標榜科は 7 科のみでした。昭和 40 年にそれまでのいわゆる大内科から呼吸器科が最初に独立しており、呼吸器科の標榜は東北地方初だったそうです。医療法改正にともない平成 28 年から呼吸器内科に名称変更し現在に至っており、今年で 52 年目を迎えます。

今年度はスタッフが 1 人減ってしまいますが、他科および他医療機関との連携をさらに深めながら努力していく所存ですので今後ともよろしくお願いいたします。

◆◆薬剤性顎骨壊死について◆◆



歯科口腔外科長 八木 正篤

皆さんは薬剤性顎骨壊死という病気をご存知でしょうか？

骨粗鬆症や癌の骨転移などの病状の進行を抑えるビスホスホネート系薬剤（BP 製剤）や抗 RANKL 抗体などを投与中に抜歯などを行うと、治りが悪く、抜いた歯の周りの顎の骨が壊死してしまう病気です。症状としては、抜歯後骨が露出したままで、ずっと膿が出ていたり、物を食べると痛みが出たりします。

岩手県立中央病院の医科の先生方は薬剤性顎骨壊死を理解されている方が多く、BP 製剤や抗 RANKL 抗体などの投与前に患者さんを紹介してくださいます。投与前に抜歯すべき歯は抜歯しておくことで、薬剤性顎骨壊死の予防になります。また、口腔内の衛生状態を保つことも薬剤性顎骨壊死の予防になるので、ブラッシング指導を行ったり、歯石除去を行ったりしています。ステロイド治療を受けている方や糖尿病の方は、より顎骨壊死になりやすいので、とくに注意が必要です。すでに BP 製剤などを投与されている方の抜歯をする際は休薬が必要になることもあるので、処方されている先生と相談が必要です。

《薬剤性顎骨壊死》

治療前



治療後



不幸にして薬剤性顎骨壊死になってしまった場合は抗菌薬の長期投与や腐骨除去などの外科的処置を行いますが、現在のところ、症状の軽減は可能でも、完治は非常に難しい病気ですので、皆さんにはいつ BP 製剤や抗 RANKL 抗体を投与されてもいように、常に口腔内をきれいにさせていただきたいと思います。



登録医

ご紹介コーナー



今回は、盛岡市の『けやき整形外科クリニック』をご紹介します。

県立中央病院の皆様方には平素より大変お世話を頂きまして感謝申し上げます。当クリニックはおかげさまでもうじき10年目を迎えます。私は卒後総合診療医を目指していたこともあり、大半が直接医局に在籍する時代でしたが、中央病院で初期研修をさせて頂き、医師としての基礎を望月院長、野崎副院長をはじめ多くの先生方やスタッフの方に御指導頂きました。

当時整形外科長であった川村先生との出会いは自分の一生を大きく左右し、1ヵ月の予定が4半世紀続くことになりました。その後、県立遠野病院（5年間）、県立江刺病院（6年間）に整形外科長として勤務させて頂く間にも、中央病院からは多くの診療応援をいただきまして、大変助かりました。中央病院の目の前で地域医療を支えるクリニックを開業することになったのも強い縁があったからだと思います。現在の医療は病診連携は欠かせません。その点においては当クリニックと中央病院の連携は目の前に立地していることや望月院長をはじめとする諸先生方のご高配のもとに非常にうまくいっております。平成28年は143人を紹介させて頂きました。そのうち整形外科は69人で手術症例は35人でした。専門外でも18の診療科にお世話になっており感謝しております。当クリニックはH28年12月より連携登録医にさせていただきました。これまでと同様強固な連携を築き、地域医療に邁進する所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



けやき整形外科クリニック
院長 奥田 聡（おくだ さとし）先生

けやき整形外科クリニック

住 所	〒020-0066 盛岡市上田1-1-35桜山閣マンション1F							
電話 / FAX	☎ 019-656-1677 / FAX 019-654-1177							
診療科目	リウマチ科・整形外科・リハビリテーション科							
診療時間		月	火	水	木	金	土	日
	9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	休
	14:00~18:00	●	●	休	●	●	休	休
休 診 日	日曜日・祝日							



— 連携室からのおねがい —

地域医療福祉連携室では、24時間365日、紹介患者さんの診療予約受付を行っております。「診療申込書（紹介患者用）」をFAX頂きますと、外来スケジュールを確認のうえ予約をお取りするとともに、事前にカルテを作成しております。また、事前に診療情報提供書を送付いただくことで、患者さんの状態を事前に把握でき、スムーズな診療が可能となり、患者さんの待ち時間の短縮にも繋がっております。診療情報提供書が作成できましたら、受診日前日までで構いませんので、連携室宛てFAX等で送付くださいますよう引き続きご協力をお願いいたします。



紹介患者予約用 外来担当医表

(平成29年4月1日現在)

岩手県立中央病院

診療科	月	火	水	木	金
血液内科	村井一範	宮入泰郎	濱田宏之	佐藤彰宜	新患担当
総合診療科	坂本和太	赤沼英	橋本朋子	大和田雅彦	菅原隆
消化器内科	池端邊敦崇	赤坂威一郎	池端敦	城戸治	伏谷淳郎 高橋太
小児外科	島岡理			島岡理	
小児科【特殊外来有】	三上仁	三上仁	梅木郁美	工藤宏紀	三上仁
※小児心療内科、小児循環器科については小児科外来にお問合せください。					
整形外科	松谷重恒 金澤憲治 部高久	小野田五 永渕裕 月章		小野田五 永渕裕 月章 久	松谷重 金澤憲 治
神経内科	新患担当	大澤宏之		菊池貴彦	
脳神経外科	菅原孝行		菅原孝行		木村尚人
循環器内科	野崎英二 中遠村明 藤秀二 浩晃	野崎英二 高橋秀 藤秀二 徹晃	野崎英二 中遠村明 藤秀二 浩晃	野崎英二 高橋正 藤秀二 徹範	野崎英二 高橋徹
心臓血管外科		長小嶺田 克彦		長嶺進	長嶺進
呼吸器内科	守義明	宇部健治	千葉真士	佐藤司	菅原まり子
呼吸器外科【要予約】 (診察12時半から15時)			大浦裕之 (第1・2・3・5) 石田格 (第4)	石田格	
放射線科 (○は治療科)	及川茂夫 ○松岡祥介	佐々木康夫 ○松岡祥介 ○太田伊吹	及川茂夫 ○松岡祥介	佐々木康夫 ○松岡祥介 ○太田伊吹	関澤琢郎 ○太田伊吹
形成外科		新井雪彦	新井雪彦	新井雪彦	
消化器外科・外科	望月泉 藤尾淳	手島仁	白田昌広 小澤洋平	宮田剛	村上和重 中村崇宣
ペインクリニック	野口浩輝	野口浩輝		野口浩輝	野口浩輝
皮膚科	森川康志 梁川志保	森川康志 梁川志保	森川康志 梁川志保	森川康志 梁川志保	森川康志 梁川志保
眼科	久保抄子	佐々木克哉	吉田憲史	佐々木克哉	佐々木克哉
歯科口腔外科	横田光正 八榎野雅文 一	横田光正 八榎野雅文 一	横田光正 八榎野雅文 一		横田光正 八榎野雅文 一
耳鼻咽喉科	遠藤芳彦 及藤川伸一	及藤川伸一	遠藤芳彦 及藤川伸一	遠藤芳彦	遠藤芳彦 及藤川伸一
泌尿器科	藤澤宏光 岩崎一洋	藤澤宏光 岩崎一洋	藤澤宏光 岩崎一洋	藤澤宏光	藤澤宏光 岩崎一洋
腎臓・リウマチ科	三森明夫 中屋来哉	三森明夫 小山純司	三森明夫 吉川和寛	三森明夫 相馬淳	三森明夫 後藤泰二郎
がん化学療法科	加藤誠之	加藤誠之	加藤誠之	加藤誠之	加藤誠之
乳腺・内分泌外科	大貫幸二 高木まゆ 渡辺道雄	宇佐美伸 高木まゆ 渡辺道雄	大貫幸二 高木まゆ	大貫幸二 宇佐美伸	大貫幸二 宇佐美伸
産婦人科	葛西真由美 三浦史晴	葛西真由美 三浦史晴		鈴木博 葛西真由美 三浦史晴	葛西真由美 海道善隆

- 受付時間は呼吸器外科を除き8:30~11:00(土・日・祝日・年末年始を除く)です。
- 急患の場合は、休診日にかかわらず24時間いつでも受け入れております。緊急時は、必ず該当診療科へ電話連絡をお願いします。
- 当日受診の際は、診療申込書の受診希望日欄に当日の日付をご記入ください。
- CT・MRI等の高度医療器械の利用についても、紹介患者様を優先いたします。なお、FAX紹介の際には検査部位を必ずご記入ください。
- 精神科の予約については653-1151(内線2256) 平日13:00~14:00までお問い合わせください。

※外来担当医表、医師の出張などに伴う不在情報はホームページで毎月更新しています。

<http://www.chuo-hp.jp>

地域医療福祉連携室

TEL 019-653-1151(代)内線2191

FAX 019-654-5052